

# 不当解雇 撤回裁判 傍聴を!

# かいな

全日本金属情報機器  
労働組合(JMIU)  
日本アイビーエム支部  
東京都港区赤坂2丁目20の6  
川源ビル5F 〒107-0052  
TEL: 03-3583-9037  
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円

## 許すな不当解雇

### IBMの横暴に反撃する集会

日本IBM許されるなら、他の企業Mの横暴にも広がり、労働者の存亡にもかかわる」と訴え、解雇を許さない、フリーランス企業と結びかけをしました。大黒全労連議長は「解雇自由な社会を許さない」と呼びかけをしました。JMIU生熊委員長は、

長から寄せられたメッセージが代読され、厚生労働委員の田村智子参院議員から激励のあいさつをいただき、会場は熱い拍手に包まれました。

#### 怒りの寸劇

日本IBM支部がロックアウト解雇がいかにかに横暴な解雇であるかを知ってもらうために寸劇を行いました。あまりにも冷酷で、淡々と進む解雇プロセスに「ありえない、あきれ」と怒りの声があがりました。

つづいて日本IBM支部の大黒副委員長が大会決議文を読み上げ採択。大岡委員長から「私たちは、たたかう組合であり、今後も団結、連帯して勝利するまでたたかう」と

#### 力強い連帯挨拶

援の仲間が参加し、決議を採択して反撃の拳をあげました。集会は、全労連(\*1)、東京地評(\*2)、JMIU(\*3)、JMIU日本IBM支部の共同主催で開催。伊藤東京地評議長は「IBM型解雇が

「公社許せない」と決意表明

#### 解雇自由な社会許さない

集会は、全労連(\*1)、東京地評(\*2)、JMIU(\*3)、JMIU日本IBM支部の共同主催で開催。伊藤東京地評議長は「IBM型解雇が

次に原告全員が「このような公社は許せないから立ち上がった」と怒りの気持ちを決意表明。集会に結集した全労連団がステージに上がり団結の意思を表し、代表してJAL原

電機業界のリストラヤ今回のロックアウト解雇問題を衆議院予算委員で政府を追及していただきたい日本共産党の志位委員長



日本橋公会堂に集まった共に闘う仲間たち

支部決意表明を行い、JMIU東京地本の小山内委員長の閉会の挨拶で締めくくりました。最後に全員で「団結してがんばろう!」と拳を高く突き上げ氣勢を上げました。

\*1 全国労働組合総連合の略称で、1989年に国民、労働者の利益を最重視する全国組織として誕生

\*2 東京地方労働組合評議会の略称で、東京都内にある様々な産業別労働組合や地域労働組合が加盟している連合組織

\*3 全日本金属情報機器労働組合の略称で、たたかいなどを通じて多くの争議を労働者の勝利解決に導いてきた日本IBMの組合が加盟する産業別労働組合

12月7日に上部団体などにより集会の決議文を持って日本IBM本社に対し問題解決のための要請行動を行いました

## 集会参加者からIBM支部を励ます声(抜粋)

## 絶対、絶対、絶対負けないで!

◆職場には、声に出せない言葉が満ちていると思います。その声を代表して立ち上がったみなさんの勇気に連帯の声をあげるとともに闘う事を伝えたいと思います。(オリエンタルモーター) ◆企業の圧力と横暴に屈せず、解雇撤回するまで組合に結集し、団結し、人権無視したことに對する怒りをもっと素直に表明して頑張ろう! (神奈川県) ◆絶対、絶対、絶対負けないで! 私たちも勝つまで支援します。一企業の問題だけではなく、日本全国の注目を浴びています。頑張りますよ。(品川地域) ◆ここで解雇をストップさせ、解雇された仲間を職場に戻さなければ! 法廷で勝ち、運動で勝つ。私も誰もが安心して働ける日本を目指し、一緒に闘います。(女性センター) ◆集会以て改め



集まってくれた支援の仲間

てそのひどさを感じました。絶対に許してはならない。がんばりましょう(三英社) ◆IBMの人の権を無視した今回のロックアウト解雇は絶対に認められません。労働者の雇用を守るため最前線で闘っているIBMの「仲間」に心より感謝しています。職場にもどれることを願い共に参加していきたく思っています。(大田地域) ◆みんなの団結で、IBMの違法なリストラを跳ね返そう!! 「解雇の自由化」

をゆるさず、IBMの仲間と共に団結してガンバリ。(宇野沢組鉄工所) ◆「ロックアウト解雇」絶対に許さない。連帯して闘おう。(大泉製作所) ◆許すな首切り。絶対許すな!(理研計器) ◆世間では、IBMはブラック企業と言われている(就職活動をしていた息子の友人が教えてくれました)。それに加えて元社長の盗撮によってピク企業とも言われているようです。なるほど、「病んだ」人間でなければあのようなリストラは実行できないのでしょうか。「まともな人間」ができることではないと思えます。そんな人間たちが「解雇が普通の職場・日本」にしようとしている。絶対に許せません。これはIBMだけの問題ではありません。すべての労働者の根本的な権利が侵されようとしていると思います。IBMのたかいたを全面的に支援します。ともに頑張りますよ。(南部地区)

## 「許すな! 解雇自由化 ブラック企業のメダリスト 日本IBMの大量解雇に反撃する大集会」決議

本日、東京・日本橋公会堂ホールにおいて「許すな! 解雇自由化 ブラック企業のメダリスト日本IBMの大量解雇に反撃する大集会」が開催され、会場をいっぱいにする350人以上の仲間が参加した。集会では、日本IBMで吹き荒れる乱暴な大量解雇を告発するとともに、裁判に立ち上がった3名の原告をはじめ、解雇攻撃とたたかうJMIU日本IBM支部の仲間を激励し、ともにたたかう決意を固めあった。

夕方5時頃、突然別室に呼び出し、「3日以内に自主退職を。しなければ解雇する」という旨の解雇通知書を読み上げ、「5時36分の終業時刻までに会社を出て行け」と迫るその手法は、ハリウッド映画さながらの乱暴さであり、マスコミ報道や国会質問では「ロックアウト型解雇」と呼ばれ国民の大きな怒りを生んでいる。

IBMの解雇の不当性はそれだけではない。会社は、就業規則の解雇要件に該当すると言うだけで、その具体的内容の説明を一切拒否しており、労働契約法16条という解雇権濫用法理に照らし違法である。会社は、一方的な理由で解雇することを常態化することをねらっている。

JMIU組合員だけでも、3ヵ月間で11人が解雇通知を受け、全社的には9月の1ヵ月だけで200人という大量の退職者が出たとも言われている。解雇の真の目的が人数減らしリストラであることは明らかである。

会社はJMIUが団交を申し入れたにもかかわらず解雇を強行した。組合員への解雇並びに団交拒否は不当労働行為である。今回の大量解雇攻撃が不当不法なものであることは明白であり、日本IBMはただちに解雇を撤回し労働者を職場に復帰させるべきである。

いま、財界・大企業は「解雇の自由化」をねらい、法の規制をなくし自由に労働者を解雇できるようにしようとしている。今回の攻撃は日本IBMが「リストラの毒味役」として、「解雇自由化」を現場からすすめるものであり、これを突破口に「解雇」によるリストラ人数減らしが一気にひろがる恐れがある。

いまIBMの職場では、JMIUに加入し不当な解雇・退職攻撃に抗議しともにたたかう仲間が立ち上がり始めている。わたしたちは裁判の勝利判決をめざすと同時に、こうした職場・地域の仲間と連帯し、世論と運動で日本IBMを包囲し、解雇撤回・職場復帰を必ず勝ち取り、「解雇自由化」の財界・大企業のねらいを粉砕するために全力をあげる決意である。

2012年11月27日

許すな! 解雇自由化 ブラック企業のメダリスト日本IBM

の大量解雇に反撃する大集会

## 2012年従業員代表選挙結果

		組合推薦候補	得票数	得票率*
本社事業所	第1ブロック	笠原 龍宗	262	20.8%
	第2ブロック	石原 隆行(当選)	389	28.5%
	第3ブロック	橋本 康助	292	21.0%
	第5ブロック	並木 和男	318	21.1%
豊洲事業所	第2ブロック	三浦 裕之	78	28.3%
	第3ブロック	棚田 昭彦	72	25.8%
幕張事業所	第1ブロック	大碓 智	62	20.4%
	第2ブロック	田中 純	95	33.2%
大阪事業所		河本 公彦	117	21.5%
*得票率：有効投票数のうちの獲得率			1685	23.4%

間の時間外労働

準になる月80時

ンタル疾患の基

働省の定めるメ

えした「厚生労

12号」でお伝

の「かいな22

年11月19日発行

争点は2012

今回の選挙の

が期待されます。

こちらでの活躍

が期待されます。

ばれましたので

業員代表にはな

れませんでした。

しかし衛生委員

会の4号員(従

業員代表)に選

ばれましたので

が期待されます。

今回の選挙の

争点は2012

年11月19日発行

の「かいな22

12号」でお伝

えした「厚生労

働省の定めるメ

## 組合候補石原さん当選

## 従業員代表選出選挙で

11月26日に日本IBMの各事業所で36協定および裁量労働協定のための従業員代表選出選挙が行

われました。その選挙結果は左表のとおりです。

この中で、本社第2ブロック組合推薦候補の石原

隆行さんが当選しました。

これは、相手候補者双方とも得票数が総有権者の過半数に達しなかったため、両者当選となった

石原さんはブロック代表にはなりません。

代表者互選による本社事業所従業員代表にはな

れませんでした。

しかし衛生委員

会の4号員(従

業員代表)に選

## 「ロックアウト解雇裁判」傍聴のお願い

第1回期日：12月21日(金)10時開廷

於：東京地方裁判所103号法廷

(地下鉄霞ヶ関駅A1出口すぐ)

皆さん大変お世話になっています。原告団の鈴木裕治です。

解雇撤回を求める活動を皆さんと継続していますが、弁護士との打ち合わせ等の活動の中で初めて知りましたが、裁判は人が行うものなので、残念ながら決して公正に行われるものとは限らないようです。

我々原告は、適正に裁判が行われるように、裁判所の事務方へ直接請願したり、各業界の組合に支援をお願いしたり、裁判所でのピラ配布やマスコミの取材に応じる等で、各方面からの民意や世論の盛り上げをお願いしています。それに加え、実際の裁判は、傍聴者数等の力関係に大きく左右されるのです。マスコミの注目度も高いので、会場は100人収容の最大の法廷を用意していますので、是非とも大勢の皆さんに傍聴していただきまして裁判官に良い心証を与えてください。

何卒よろしくお申しあげます。

を許容するという、社員改めて社員の声を聞くことの身体的精神的健康を無視した状況を残したままの協定案」の可否でした。遺憾ながら、この異常な協定案を支持する候補者に多くの投票が集まりました。

また今回の選はれた従業員代表の任期は一年です。この間、行われる就業規則その他の改訂が、

「減給」を始めました。また「行う」を「行うことがある」に置換えてから、毎年の昇給がなくなりました。社員はその会社の意図を見抜かなければなりません。さらに問題は本社事業所で行われている電子投票です。この投票方法は匿名性が担保されない問題があります。

投稿

## I B Mの不当解雇を訴える

## 京都で女性集会と宣伝

11月10日(土)から11日(日)にかけて京都で開催された「第57回はたらく女性の中央集会」に、翌12日(月)には京都駅前で宣伝行動を実施しました。

以来毎年、女性労働者が日本全国から集まって、女性のはたらく権利や、平和・男女平等の実現・女性の地位向上をめざして学習・交流・討論を行ってきています。

はたらく女性の中央集会は、1956年に東京で第1回集会が開催され、

ロックアウト  
解雇訴え

11日の全体会では、1960年代から日本の原子力政策批判に取り組んできた原子力工学博士による、「放射能災害と私たちの生活」という講演があり、「ずつと原子力政策批判を行ってきたが、結局今回の事故を止められなかったことに責任も感じる」という言葉が印象的でした。

この日は、何か解雇問題が日本IBMで起こっているようにと漠然と伝わっただけかもしれないませんが、翌日の13日(火)日



集会でロックアウト解雇について発言

今回の中央集会で、私は10日の分科会では、10種類の中から「まとも」に働きたい！いまこそはたらくルールの確立を」というシンポジウムを選んで参加しました。

シンポジウムの前半は弁護士による講演で、JALの不当解雇、公務員の人員削減・賃

金切下げ、成果主義など最近の労働状況についての話がありました。後半は参加者がそれぞれの職場で発生している問題について発言しました。私は日本IBMで発生したロックアウト解雇について発言しました。



京都駅前ではピラを配る参加者

本共産党志位和夫委員長の衆議院予算委員会で政府を迫ったテレビ中継を見て、日本IBMで発生したロックアウト解雇について深くご理解いただけただけではないかと思えます。

今回、中央集会参加と京都駅前宣伝行動で、たくさん発言し、職場の問題を多くの人に伝えることが出来たのは、行く前の準備や当日のサポートをしてくださった皆様のおかげと感謝しております。(S)

日本の景気回復には、インフレにすることが必要と言われているが、インフレにした結果がどうなるかは、経済評論家の間でも正反対の予測が出ているようだ▼バラ色の未来では、バブルの再来。暗黒の未来では、ハイパーインフレ・経済破綻・街には失業者・社会保障なし▼だが、バブルの再来などあるのだろうか。そもそもバブル期には給与の上昇があったが、バブル崩壊後、ずっと不景気だったわけではない。何らかの好景気はやってきたが、一貫して給与は下がりが続けた▼この状態のまま紙幣を増刷しても、資産としてため込まれるだけで、税収の増加にも、購買力の上昇にも回らない。景気回復のためには、雇用を増やし、給与を上げることがいちばん必要なのではないかと思うが、そういう説をテレビで見ないのはいやだろっか。(す)

漢マ-